東京都市大学 （東京都）

超える、つながる、その夢に。世界標準の大学への進化

■大学紹介

自治 自由 公正

In almost eight decades since its establishment, TOKYO CITY UNIVERSITY's founding spirit based on "justice", "liberty" and "autonomy" has remained unchanged.

① 大学の特色及び概要

1929年に創設された本学は、公正・自由・自治を建学の精神とし、実学の充実に重点を置いた教育と、実践的かつ先駆的な研究で、わが国の工業的発展に貢献してきた。2009年には東京都市大学と改称し、「持続可能な社会発展をもたらすための人材育成と学術研究」を理念に科学技術から生活福祉までの幅広い領域を網羅する大学となった。現在は、「世界で活躍できる、実践的な専門力を有する人材育成」を掲げ、2015年よりTAP（オーストラリア留学プログラム）を開始し、これまで1,000名以上の学生が留学を経験した。2018年には、アジア大洋州5大学連合（AOFUA）も発足し、国際人育成プログラムが充実している。

世田谷キャンパス

＜学部・学科・学生数＞　2022年5月1日現在

学部（7学部17学科）
■理工学部（機械工学科、機械システム工学科、電気電子通信工学科、医用工学科、応用化学科、原子力安全工学科、自然科学科）
■建築都市デザイン学部（建築学科、都市工学科）
■情報工学部（情報科学科、知能情報工学科）
■環境学部（環境創生学科、環境経営システム学科）
■メディア情報学部（社会メディア学科、情報システム学科）
■都市生活学部都市生活学科
■人間科学部児童学科

大学院[博士前期課程・博士後期課程]
（2研究科8専攻）
・総合理工学研究科（機械専攻、電気・化学専攻、共同原子力専攻、自然科学専攻、建築・都市専攻、情報専攻）
・環境情報学研究科（環境情報学専攻、都市生活専攻）

＜学生数＞　2022年5月1日現在
学部6,993名、大学院858名

＜専任教員数＞　2022年5月1日現在　276名

横浜キャンパス

② 国際交流の実績

・留学生在籍者数　2022年5月1日現在
学部151名、大学院49名
・海外協定大学・機関数　42大学
・TAPｵｰｽﾄﾗﾘｱﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ派遣者数　1,098名（累計）
・JSTさくらサイエンス採択件数　73件（累計）
・JICA研修員の受入者数　3名（累計）
・東急グループ奨学生受入者数　8名（累計）
・STEP（送出し）人数　229名（累計）
・ﾆｭｰｺﾛﾝﾎﾞﾌﾟﾗﾝによる受入者数　83名（累計）
・海外インターンシップ送出し数　305名（累計）
・教員の長期派遣　6名（直近3年間）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2021年：留学生数195名、日研生0名
2020年：留学生数170名、日研生0名
2019年：留学生数116名、日研生0名

④ 地域の特色

世田谷キャンパスは、世田谷区の閑静な住宅街にあり、都内唯一の渓谷である等々力渓谷にも近く、自然環境豊かな立地である。横浜キャンパスは、緑豊かな港北ニュータウンの中にあり、自然と共生するキャンパスライフをおくることができる。新宿や渋谷、羽田空港などにも30分程度でアクセスすることができ、常に大都市の刺激を受けるとともに、国内外を問わず交流が盛んな地域である。

渋谷駅前スクランブル交差点

世田谷キャンパス学園祭の風景

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

（ｂ）主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

＜教育方針＞

東京都市大学が設置する7学部2研究科で学ぶ留学生に対して日本語の中級能力までの確認と日本事情・日本文化を理解し、卒業後または修了後、自国と日本の真の架け橋となる人材の養成を教育方針とする。

＜特徴＞

日本の事情を学びながら日本語能力の向上を図る。さらに、日本の文化（歴史や文学など）について理解を深めることができる。

＜内容＞

本学の日本語・日本文化コースは、日本の事情の理解を伴った日本語を学ぶ科目と、日本文化、歴史、文学を学ぶ科目から構成される。

③ 受入定員

3名（大学推薦3名）

④ 受講希望者の資格、条件等

受講希望者の資格は大学院の正規学生・研究生、学部の正規学生、海外協定大学の交換留学生とする。さらに、以下の条件を満たすこと。

（ア）日本語・日本文化に強い関心を持つ者。
（イ）日本語又は英語で会話が可能であること。
（ウ）日本と母国の架け橋人材に相応しい人物
（エ）日本語または英語の授業を理解できること。
（オ）日本語能力試験N2以上または相当の者。

⑤ 達成目標

日本語と日本文化について広く学び、日本に関する理解を深める。また、本学での学習を通じて、日本語の運用能力を高める。日本語能力試験N1取得を目標とする。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2022年9月下旬　～　2023年9月中旬
（在籍期間：2022年9月21日～2023年9月20日）

⑦ 奨学金支給期間

2022年10月　～　2023年9月

⑧ 研修・年間スケジュール

2022年
9月20日までに：渡日
9月21日：オリエンテーション
9月22日：授業開始
11月　：秋季留学生交流会
12月　：中間発表会
2023年
2月　：一日研修旅行
5月　：春季留学生交流会
6月　：中間発表会
7月　：日本文化研修会
9月　：成果発表会、修了式
9月下旬：帰国（2023年は9月17日）

⑨ コースの修了要件

選択必修科目（日本語科目）から4単位以上を含み、10単位以上修得することを修了要件とします。
この要件を満たした者には修了証書を授与する。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

表１（科目リスト）

必選の別	科目名	単位数
日本語科目	日本語基礎・日本事情(1)　※1	2
	日本語基礎・日本事情(2)　※1	2
	日本語表現　※1	2
「日本文化」科目	日本文化論　※3	2
	日本文化の伝承　※2	2
	日本史　※2	2
	日本文学　※1	2

※1　日本語で開講
※2　日本語が主で英語が副で開講
※3　英語が主で日本語が副で開講

１）研修・コース科目の特徴
　コースは日本語を学ぶ科目群と日本文化を学ぶ科目群から構成されている。
　日本語を学ぶ科目においても、その中に日本事情を学ぶ内容が含まれていることが特徴である。
　日本文化を学ぶ科目においては、日本文化全般と伝承を学ぶ科目の他に、歴史、文学に着目した科目を設置していることが特徴である。

２）研修・コース開設科目
■日本語科目
　①日本語基礎・日本事情(1)
　②日本語基礎・日本事情(2)
　③日本語表現
■「日本文化」科目
　④日本文化論
　⑤日本文化の伝承
　⑥日本史
　⑦日本文学

３）研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容
　「日本文化論」には日本の歴史的な建造物の見学会や「茶道」の実体験を含む。

４）日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容
　「日本文化」科目の中に留学生と日本人学生が共に学ぶ科目を含む。

フィールドワーク（鎌倉）

TAPレッスン風景

⑪ 指導体制

（ア）担当教員
国際センター専任教員　2名
科目担当専任教員　　2名
科目担当非常勤教員　　2名

（イ）個別（教学・生活）相談
教学に関しては主に国際担当専任教員（各学科1名）が、生活面は国際センター専任教員2名が相談に応じる。

（ウ）その他
案件に応じて、国際センター教員2名、留学生支援専門委員（専任教員）6名、及び、留学生支援センター事務職員3名が適宜対応する。

グローバルフロア（7号館２階）

剣道部活動の様子

■宿　舎

　原則、本学国際学生寮に入居する。希望により、民間の学生会館をあっせんすることも可能。

国際学生寮（世田谷キャンパス付近）

■修了生へのフォローアップ

　コース修了後も、主にSNS（Facebook、Instagramなど）やLINEグループを活用して、修了生と本学との交流の場を提供する。また、本学からの情報発信も継続的に行う。

■問合せ先

＜担当部署＞
東京都市大学国際部留学支援センター

住所：〒157-0802
　　東京都世田谷区玉堤1-28-1

TEL：　+81-(0)3-5707-0104（代表）
Email：internationalstudents@tcu.ac.jp

＜ウェブサイト＞
東京都市大学：
　https://www.tcu.ac.jp/
東京都市大学国際交流：
　https://www.tcu.ac.jp/interchange/